

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	一般社団法人 演劇集団ワンダーランド
公演団体名	一般社団法人 演劇集団ワンダーランド

内容
<p>【コロナ対応バージョン】</p> <p>今回の事業で一番大事なことは、「見る」「聞く」「感じる」つまり、五感を鋭くする訓練によって、想像力、創造力、感受性を豊かにし、コミュニケーション能力を発達させ、社会性が身につくようにすることです。本来は、児童生徒には、「踊る」「影絵」「歌う」という三つのワークショップを体験していただいておりますが、コロナ感染拡大防止対策として、児童と距離を十分に保ちながら、「見る」、「聞く」、「感じる」の五感を養っていただきます。</p> <p>児童には「踊る」「影絵」「歌う」という三つのワークショップを体験していただきます。言葉にメロディーがつくことで記憶が強化されます。言語情報だけよりそれに身振り手振りの情報が加わることで伝達力が高まります。</p> <p>上記をもとに、学校の要望に合わせ、全校児童生徒はマスク着用で、出演児童生徒は、マスクとフェイスシールド着用で行う4パターンを考えています。</p> <p>① 「内容は、これまでと同じで行う」</p> <ul style="list-style-type: none">■1 コマ目は、全校児童・生徒が参加です。はじめに芝居の内容をプロジェクターを使用して説明。そのあと全校児童・生徒でフィナーレの曲を歌います。■2 コマ目は、6名の児童（3名影絵・からくり人形の踊り・3名の台詞）の出演する箇所の稽古を予定しています。出演箇所は三カ所で、からくり人形として登場、影絵劇を表現します。 <p>② 「歌はなしで手拍子と振りに代える。6名児童生徒は出演」</p> <ul style="list-style-type: none">■1 コマ目は、全校児童・生徒が参加です。はじめに芝居の内容をプロジェクターを使用して説明。そのあと全校児童・生徒でフィナーレの曲に合わせて、手拍子と振付の練習をします。■2 コマ目は、6名の児童（3名影絵・からくり人形の踊り・3名の台詞）の出演する箇所の稽古を予定しています。出演箇所は三カ所で、からくり人形として登場、影絵劇を表現します。 <p>③ 「歌なし手拍子と振りに代える。6名出演児童生徒なし」</p> <ul style="list-style-type: none">■1 コマ目は、全校児童・生徒が参加です。はじめに芝居の内容をプロジェクターを使用して説明。そのあと全校児童・生徒でフィナーレの曲に合わせて、手拍子と振付の練習をします。

■2コマ目は、出演予定だった児童6名と、影絵遊び、台詞遊び、振付遊びを児童生徒に実際に体験してもらい、当日の劇を見て共感してもらおう。

④ 「事前のWSなしで本番WSのみ、歌なし、6名児童生徒出演なし」

観劇の児童が、フィナーレは、「歌う」、「踊り」の代わりに、歌に合わせて「手拍子」で劇への参加を共感していただきます。

劇中の子供たち出演箇所は、役者が対応して行います。役者の劇全体の演技により、芸術鑑賞の素晴らしさを体験いただき五感を養っていただきます。

■本番前に、1コマWS時間を設けます。上演前10分ほど、観劇の児童全員に向けて、お芝居全体の概要の説明を行い、事前のワークショップに代えさせていただきます。

タイムスケジュール（標準）

事前のワークショップが可能な場合、ワークショップの始まる1時間前に到着。終了後1時間打ち合わせ。

■1時間ワークショップの準備

■1コマ目（45～50分）全校児童・生徒参加「お芝居の説明。フィナーレで合唱する歌の練習」

■学校の時間に合わせて休憩

■2コマ目（45～50分）出演6名参加。

■1時間 松村穰が先生と打ち合わせ。その間に2名のスタッフが、体育館の下見。

※①②の場合は、本番日も出演の6名は30分のワークショップでリハーサルを行う。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

3名

※事前のワークショップがない場合でも、事前の下見が必要になります。遠方になり疲労も考慮し、下見でも3名で参りたく相談させていただきますと幸いです。

学校における事前指導

合唱する予定の歌のCDと楽譜を、学校へ前もって郵送し、歌を昼食時等に流していただき聞きなれていただく。楽譜は人数分印刷をお願いする（状況に合わせて印刷なし等対応いただく）。

※準備いただくもの

・マイク2本 ・延長コード1本 ・机1台

・体育館の配電盤のカギを開けていただく。

・劇に出演する児童生徒を、6名選出いただき、名前・フリガナを記載した名簿を3枚ご準備いただく。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	一般社団法人 演劇集団ワンダーランド
公演団体名	一般社団法人 演劇集団ワンダーランド

演目
<p>日本は、明治以降、技術力で国力を高めてきた国家です。資源のない国、日本を、技術の力で日本の未来を切り開こうとした、東洋のエジソンの異名を持つ東芝の創立者「田中久重」の評伝劇です。</p> <p>からくり人形の発明の面白さに魅了され、果ては佐賀藩、久留米藩の蒸気船、明治時代には、万年時計などさまざまな発明をしてきました。</p> <p>本作品は、その発明の根源「人の想像力・創造する喜び」、それに加え何事も不可能なことではないと思えます諦めない精神をもつことで、現在の日本の技術があることなど、人間ドラマを通じて、なぜ日本の技術が発展していったか、どういう信念を持ち行動したかを感じてもらえる作品です。子供達に発想力や行動力の大切さを伝えます。本作品は実話を下敷きにしたフィクションです。</p>

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
出演者 14 人、スタッフ 6~7 人

タイムスケジュール（標準）
午前 8 : 00 ~ 11 : 00 搬入・仕込み、11 : 00 ~ 12 : 00 場当たり（内 30 分ワークショップ） 12 : 45 児童生徒 6 名小屋入り、12 : 50 開場、13 : 00 開演 / 14 : 50 終演 15 : 05 ~ 17 : 30 パラシ・搬出後、帰路につきます。 ※基本は上記のスケジュールで行う。学校の事情により、時間は多少前後します。 ※午前公演に変更の場合は、前日仕込みで 1 ステージ目の開演時間は 10 : 10 を基本とします。

実施校への協力依頼人員
<ul style="list-style-type: none">・フィナーレで合唱または手拍子・振りを、全校児童生徒に協力をお願い予定です。・お芝居の途中に参加いただく 6 名を、学校側でご選出いただきます。・校長先生に、可能であれば「台詞を話す」でご出演いただく予定です。

演目解説

近年日本経済は、大きな目で見ると沈滞傾向にあります。資源のない国の日本の発展には、技術が必須です。本作品の主人公であるからくり儀右衛門は、技術で明治維新を牽引した人物です。発明の精神の根源は、「想像力・創造する喜び」であり、その信念により日本は先進国の仲間入りをしました。

また登場人物の久留米かすりの創設者「井上傳」をはじめ、他登場人物の一人ひとりに夢があり、悩みがあり、友情があり、挫折があります。「他人と強調して思いやる心」「感動するところ」「悲しみを分かち合える心」「豊かな人間性」などの人間として成長していく大変重要な「生きる力」を育む力のある作品です。子供たちは、技術力が日経済再生のカギを握ることに気づきを得ることでしょう。

本作品は、歌、踊り、影絵、最新の映像技術を使い、優れた総合芸術の体験の機会を提供します。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

舞台上上がる6名は、からくり人形の踊り・影絵（言葉を使わないコミュニケーション）、台詞を話し芝居をする箇所でも出演していただきます。

出演する児童生徒と、客席にいる児童生徒は、客観的に見てリアクションをすることにより、双方のコミュニケーションを図る試みです。

全校児童生徒の参加でフィナーレを合唱します。お芝居を観終わった後の全員での合唱では、舞台上上がっている児童生徒だけでなく、客席にいるすべての人が「参加者」であり「主体者」である感覚を味わうことのできる演出形態を考えています。

今観終わったばかりのお芝居の内容を歌にしたフィナーレの合唱曲です。言葉にメロディを持った音声の伝達力に気づきを得るでしょう。

上記をもとに、合唱を控えたい学校には、手拍子・振り等に変更し、劇への参加を共感していただきます。

出演児童の参加が難しい場合は、役者の劇全体の演技により、芸術鑑賞の素晴らしさを体験いただき五感を養っていただきます。

児童生徒とのふれあい

コロナ対策のため、本番時の昼食を出演児童と一緒に食べる時間は、控えます。また仕込・撤去時の子供たちの協力も、今回は控えます。学校との事前打ち合わせで、児童とのふれあいなど、距離をとり行うことなど、相談してまいります。